

3月30日(水)

本年度第35回(通算2581回)12時30分～ 釧路プリンスホテル
『坂本新世代育成基金支援』 担当/新世代委員会

☆お客様と来訪ロータリアン

・ 櫛部 あつ子様 (ゆったり子育て講座実行委員会 代表)

☆メイクアップ

☆出席報告【会員総数65名 免除11名 出席計算に用いた会員数65名】

3月16日例会 出席及びメーカー数 43名 出席率 66%

☆ニコニコ献金(今年度累計 561,000円)

- ・ 櫛部様宜しくお願い致します 三原克也君
- ・ 災害義援金と支援物資のご協力お願い致します 泰地浩幸君

☆会長挨拶

東北関東大震災からまもなく2週間となりますが、計り知れない被害をもたらし、皆さんこんにちは。寒さも日増しに和らいできて、春の訪れが待ち遠しい時期となりました。

この度の震災から3週間、被災者の復興に向けた動きも活発化してきており、少しずつではありますが明るい話題も増え、確実に前に動いていると感じております。日本経済に大きな打撃を与えた震災ですが、これからの日本の社会と、経済を立て直すのは、私たちが今現在考えている以上の努力が必要とされていると思います。ですから前向きに前向きにこれからの日本を支えていくことが、私たちに課せられた使命であると思います。

さて本日の例会は新世代基金の支援贈呈式です。昨年に続き「ゆったり子育て講座」実行委員会の代表をされておられます櫛部あつ子様にご来席を頂きました。同基金は釧路地域で活躍する青少年団体と、子供や青少年の健全育成にかかわる諸団体に、支援金の形で応援しようというものであります。櫛部様には、昨年度の活動内容につきまして、後ほどお話を伺いたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

☆幹事報告

- ①本日の回覧は
 - ・ (財)米山梅吉記念館様より館報
 - ・ 釧路市女性団体連絡会議様より広報紙「きずな」
 - ・ 釧路市市民憲章推進協議会様より広報紙「市民憲章くしろ」
- ②先日皆様に「東北地方太平洋沖地震」への支援物資の御協力と被害調査のお願いをお送りしました。よろしくお願ひします。
- ③5月16日に宜蘭RC様の周年に出席の依頼が来ています。日程等お送りしましたので、多数のご参加お願ひ致します。



2010～2011年度 坂本新世代育成基金支援団体
ゆったり子育て講座実行委員会

- ・代表者名 櫛部あつ子
- ・会員数 50名～200名(講座毎に募集)
- ・推薦機関 釧路短期大学
学長 西塔正一

※昨年度、単年度の支援としましたが今年度理事会で3年継続支援に変更。

・活動内容・ 平成12年より毎年角界で活躍されている方々(児童精神科医・大学教授絵本作家など)を講師に招き、子育てをする母親に対して学びの場として年5～6回の講座を開催している。

家庭集会報告



アカデミー部門
理事 森山義文



ロータリー研修委員会
委員長 高橋邦弘

テーマ 「会員増強と退会防止」への取組み

●開催期間 2月 5日(土)～2月15日(火)

召集者	報告者	メンバー
1 小林裕幸	追田 武	小山義雄・足立功一・石井東洋彦・丹羽芳弘・千田 清 岡中孝道・阿部信行・長内 宏
2 田中和紀	本間明美	境 弘伸・中井 寛・三原克也・三宅弘泰・横田國勝 中島谷友一郎・芦原 明・梅地 理・川津信義
3 島田利明	平田康典	田村憲一郎・徳山淳一・松田信明・高橋邦弘・百枝信二 沼沢東三・笠井龍司・見田常則・浦田静二
4 平澤利秀	泰地浩幸	大友 淳・穂積由蔵・中嶋嘉明・北川健二・菊池恵美子 高橋 貢・小畑保則・千葉孝司・斉藤邦彦
5 伊賀啓司	平井昌弘	森山義文・松原久幸・佐渡正幸・村井順一・小野寺英夫 布目九一・坂入信行・石塚茂樹・山田 修
6 村上裕爾	丹葉一恵	川尻道子・能登信孝・小松亮次・天坂雄一・富樫孝之 萩原昭博・新妻繁市・広瀬憲治・斉藤憲一

春の兆しを感じられる季節となりましたが、会員の皆様にはご健勝の事とお慶び申し上げます。

さて、今年度第2回家庭集会の各班よりの報告を、皆様に発表させていただきます。多くのご意見を戴きました。会員の皆様の、クラブに対する真剣な気持ち表れています。

この貴重なご意見を、「会員増強とクラブの活性化」の参考にしていただきたいと思います。

●第1班 報告者 迫田 武君

1. 仕事の経済背景を考えると、仲間の勧誘をすることは難しい。だが何かアクションを起こさないと、減少方向に進んでしまう。まずはアクションを起こすことが必要である。
 2. 年間会費を安くし、幅広い年齢層に入会しやすいようにするべき。
 - ・ロータリー方針は、継続が基本の為、安くした会費を継続的に安定させることが必要。
 - ・年会費を安くイベント等の必要費用は受益者(本人)負担する。(他のロータリーでは一般的な考え方である)
 - ・例会昼食費をチケット制等で清算する。
 - ・会費が掛かるので止めるのではなく会費を掛からない方法を考えるべき。
 3. 自分の身の回りを見つめ直し会員増強に努めてみる。
 4. 北RCの将来像・方針を明確に示すべき。
 - ・方針、実践、理論の3つの実施が必要であり、北RCは、優れたクラブで有る為、より明確に推し進めていくことが必要である。
 - ・「方針が無ければ、将来は無し」
- その他 ローターアクトの会員増強も必要である。
(2500地区での一番古いアクトである)
- ・40周年記念式典の支援、指導の実施(OB, OGの協力)

※第2班～第6班は裏面にあります。

家庭集会報告

●第2班 報告者 本間 明美 君

- ・班ごとに個人名が挙がった場合の対応。
- ・最後の「一押し」で入会が促進されるのではないかな。
- ・会員増強と同じくらい例会出席率の向上が重要です。
- ・人前で話しをするのが苦手な人は誘いにくい。
- ・北RCのアットホームな雰囲気が例会を休みやすくしている。
- ・入会すると人生の先輩の経営者と知り合いになり、色々仕事やその他の話を聞いて吸収できる会は他では無い、特に北RCは和やかな雰囲気のなかで学べるのだから、40代50代の若い経営者が周りの同世代に積極的にアプローチをする。
- ・以前は入会者が居た業種や、今まで入会していなかった業種別のアプローチの検討(金融機関等)

※参加人数も9名と多数参加の中、約2時間話をしました。ロータリー歴も新入会員からバスト会長まで幅広い会員が集まり、活発な意見が交わされ和やかな雰囲気のなかにも充実した家庭集会となりました。

●第3班 報告者 平田 康典 君

1. 一時50万都市を目指した釧路市ですが、現在は18万と人口流出に歯止めをかけるべく政治主導にて経済発展を推進し会員増強を図りたい。
2. 先日の教育水準の低下の話のように将来の企業で活躍する人材育成もRCの発展には欠かせない条件。(先生の教育に対する情熱が不足しているのではないかな?)
3. 仕事を辞めるとボケが進行しやすいので頑張ってお働き、ロータリーの一員として頑張っていきたい。

●第4班 報告者 泰地 浩幸 君

- ・プリンスの入会はどうなっているのか?
又、トップオブザくしろからはどうなのか?
→プリンスは何度もお願いしているが返答ももらえず、粘り強くアタックします。
- ・あるクラブで無理強いをしているがどうなのか?
→欠席が多く意味がないのでは?
→無理強いでも入会させても、後のフォローが大事です。
- ・なかなか出席出来ない人が来ると、何しに来た?
普段来ない癖に等言われている。本人も出席率が悪いのに何を考えているのか?
→私も言われたし言われている人もいた。時間を作って出席する気になれなくなる。
→同じメンバーなので、皮肉を言う前に温かな声掛けを。
- ・最近、会費の話題が多く、安くなれば入会するとは限らない。
→どれぐらい下がったら納得するのか?
→年間3万程度下がっても何も変わらない。半分ならどう?
→会費が下がれば入会しやすいではなく気持ちの問題である

- 会費が高いから入会出来ないと思われた。
- 断る理由を会費にしているように思う。年会費3万でも、魅力がなければ入会はしない。
- 安い会費につられて入る人は続かない。魅力が大事。
- 会費にこだわっても仕方ないのでは?会員増強も退会防止も問題は事業の内容と人間関係ではないか?素晴らしい事業に係る費用は納得して払うし、入会したくなる。

まとめ

- ・魅力あるクラブ作りが必要。(事業内容・人間関係など)
- ・声掛けが必要。新人や出席率の低い方は打ち解けにくくなる。
- ・取引業者、友人、同業者、他の会合などで声がけをしよう。

●第5班 報告者 平井 昌弘 君

- ・各々が真剣に取り組む事が最も大事であり、参加する意味合いが薄れてきているのではないかな?
- ・会員増強についても、ステータス的な考えが感じなく、露骨に商売に繋がる関係を気づく必要性があり、今一度見直しをした方がよい。
- ・若手がどんどん発言していくことでクラブ全体の活性化になる。
- ・家庭集会も全員が揃うまでその班でやり、団体戦で取り組むのは?
- ・配偶者特別控除
- ・年会費を抑え最低限かかる分だけ負担してもらう。それによって夫婦間の会話も生まれて良い。会員も一気に増員するなど。

まとめ

今回初めて報告者をやらせて頂きました。全体的には会員増強=商売に繋がる部分の話が非常に多かった。退会防止についてもやはりロータリアンである意味の意識付けの低下によるものであり、わかりやすく述べるとメリットがあるのか?ないのか?という所にいきついてしまう。会員数及び出席率には各々が意識しているので、今後具体的な名前を挙げて、繋がりのある人間からアプローチをして会員増強を徹底していくべきだと感じました。

●第6班 報告者 丹葉 一恵 君

入会・退会の原因の1つに

- ・会費低減の努力は必要である。
- ・その年度の会長方針によるが会費の差がない方が良い
- ・会費よっての入退会の影響はあまり関係しないのではないだろうか

退会防止では

- ・親睦が大切で、クラブの中で仲間として楽しさを見る
- ・委員会活動でのやりがいや、家庭集会での意見交換などで新しい繋がりとなる。
- ・会員同志を知る方法として、席順を早めに交代することでコミュニケーションも取りやすくなる。